

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



奉仕作業・ボランティア
自衛官と父兄会員らが協力
市内4カ所で清掃作業



出の山公園展望広場の草刈り作業（写真左）。三ノ宮峡の遊歩道では倒木などを除去しました（右）

市 自衛隊父兄会と防衛協会小林支部が、10月18日、市内4カ所で奉仕作業を行いました。会員やえびの駐屯地と都城駐屯地の自衛官やOBなど約130人が参加。出の山公園、三ノ宮峡、須木本庄川河川敷、のじりこびあで草刈り、倒木の除去やごみ拾いを実施しました。父兄会の阿部慶太郎会長は「今年で15年目。自衛隊への理解と地域への貢献のため続けていきたい」と話していました。



奉仕作業・ボランティア
シルバー人材センター会員
市内一円で奉仕作業

10月は全国シルバー人材センターの普及啓発月間。市シルバー人材センターでは18日に、恒例の奉仕作業を行いました。会員ら約338人が参加し、21班に分かれて市内各地の清掃や草刈りなどを実施。窪田明雄理事長は「我々の手で、まちを少しでも安全に、きれいにすることができれば」と話していました。翌19日には、同センター前広場でシルバーフェスタも開催されました。



奉仕作業の様子。市内各地でカーブミラー、標識の清掃や、通学路の除草などが行われました

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野中学校区

来年1月「きずな協働体」設立に向け活動中！

細野中学校区では、地域の皆でまちづくりに取り組む組織「きずな協働体」の設立に向けて活動中です。区長さんをはじめとした地域支援員や市役所の地域担当職員に、青年団やボランティア会などの活動団体も加わり、来年1月の設立を目指して、

話し合いを進めています。設立会は、細野の冬の名物「どんど焼き」に併せて盛大に開催する予定です。歴史と伝統ある細野に、ずっときれいな花（笑顔）が咲き続けることを願って、住民の皆さんがまちづくりに参加したくなる活動に取り組んでいきます。



班に分かれて、細野の未来を語り合う

細野中学校区 地域担当職員
こたま みらい
兒玉 未来（水道課職員）

伝統ある細野の火を守っていきます。細野地区の情報紙「こたま通信」も発行しています。



協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

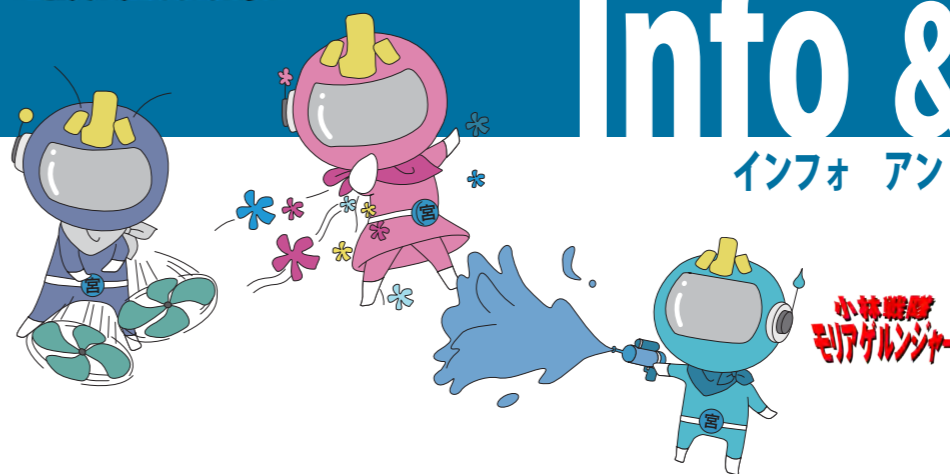


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 かいふう ひな 海蔵楓寧さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



奉仕作業・ボランティア
小林秀峰高生、市内16カ所
を感謝の気持ちで清掃



駅前の草むしりをする生徒たち。地域への感謝の気持ちを持って清掃活動を行いました。

小林秀峰高校の生徒たちが、10月11日、「感謝の大清掃」を行いました。同高校生徒や保護者、教員、地域住民など約1,000人が参加し、旧小林商業跡地や小林駅前、文化会館、介護施設など市内の16カ所のゴミ拾いや草刈り、施設内の窓拭きなどを行いました。駅前を清掃した同校2年の柚木崎力弥さんは、「まちを清掃し、きれいになったのを見るととても気持ちがいいです」と話していました。



まちづくり
住民、団体、行政が協力した
まちづくりの在り方学ぶ

第3回市民活動団体スキルアップ講座が、9月25日、市民活動支援センターでありました。地域住民ら約40人が参加し、「これからの小林市のまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションを実施。県NPO活動支援センターの井上優センター長をコーディネーター、肥後正弘市長と市未来研究所吉村秀昭さんがパネリストを務め、住民と各市民団体、行政の協力することの大切さを学びました。



吉村さんは「次世代の子どもたちを巻き込んだまちづくりを進めることが大切」と話していました